

# 学習の方法

## (ATL : Approaches to Learning)

ATLは、各教科での学習目標へ到達するためのツールです。

ATLのそれぞれのスキルについて、次のことを確認することでよりよい学びを目指すことができます。

- 現在自分ができているスキルは何か。
- どのスキルをさらに向上させることができるか。
- これから身につけられるスキルは何か。

自分ができているスキルを確認し、今後の目標を定めましょう。

IB『MYP: From principles into practice』pp.98-104をもとに、東京学芸大学附属国際中等教育学校で一部改変しています。

### コミュニケーション



#### I. コミュニケーションスキル：相互作用を通して自分はどうのように意思疎通をはかることができるのか

##### 【相互作用を通して思考やメッセージ、情報を効果的にやりとりする】

- |  |   |
|--|---|
| ◇ 先生や友だちと内容について話し合い、他者へ助言し、助言をもらう。       | ◇ 表情やジェスチャーなど、言葉によらないコミュニケーションを理解し、使う。  |
| ◇ 多様な文化理解を意識しながらコミュニケーションをとる。            | ◇ 先生や友だちと考えや知識について話し合う。                 |
| ◇ 他者と話をする際、会話の仕方に気を配ることで、より豊かな情報共有をする。   | ◇ デジタルソーシャルメディアネットワークに参加し、社会に貢献する。      |
| ◇ 目的に合ったメモの取り方や、読み手に分かりやすい記述の方法を適切に選択する。 | ◇ 多様なデジタル環境やデジタルメディアを用いて、他の生徒や専門家と協働する。 |
| ◇ さまざまな相手とコミュニケーションをとるために、多様なメディアを使う。    | ◇ 多様なデジタル環境とデジタルメディアを用いて、多数の相手と考えを共有する。 |

##### 【情報を共有するために、言語を読み、書き、話し、聞く】

- |                                 |                                |
|---------------------------------|--------------------------------|
| ◇ さまざまな資料を、理解するために読み、批判的に読む。    | ◇ 文章を、さっと見ることで理解する。            |
| ◇ さまざまな資料を、情報を得るために読み、楽しむために読む。 | ◇ 授業において効果的なメモ・ノートをとる。         |
| ◇ さまざまな資料を読み、推測し、結論を見出す。        | ◇ 学習のために効果的な要約メモを作成する。         |
| ◇ さまざまな専門用語やシンボルを理解し、使う。        | ◇ 書く内容を整理するために、さまざまな図やチャートを使う。 |
| ◇ 目的に応じて書く。                     | ◇ 多様なメディアを使って探究のための情報を見つける。    |
| ◇ 数学的な表記を理解し、使う。                | ◇ 情報を論理的にまとめ、説明する。             |
| ◇ 正確に、簡潔に言い換える。                 | ◇ 要約やエッセイ、レポートにおいて情報を筋道立てて述べる。 |

### 社会性



#### II. 協働スキル：自分はどうのように協働することができるのか？

##### 【他者と効果的に協力する】

- |   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| ◇ 他者との関係を築いたり、深めたりするために、ソーシャルメディアネットワークを適切に用いる。 | ◇ 公平で、公正な決定をする。                   |
| ◇ 他者に共感する。                                      | ◇ 他者の見解や考えに積極的に耳を傾ける。             |
| ◇ 意思や行動を決定する際、他者と責任を共有したり、信頼して任せたりする。           | ◇ 他者と効果的に交渉する。                    |
| ◇ 他者のために助言を与えたり、手助けをしたりする。                      | ◇ 他者が協力し、貢献することを促す。               |
| ◇ 自分の行動に責任を持つ。                                  | ◇ リーダーシップを発揮し、集団の中でさまざまな役割を引き受ける。 |
| ◇ 意見の対立を解決し、チームで協力して行動する。                       | ◇ 良い助言を与え、また受け取る。                 |
| ◇ 互いに話し合い、意見や行動の合意を得る。                          | ◇ 自分の権利とニーズを主張する。                 |

## 自己管理



### III. 整理整頓する力：自分はどのようにして整理整頓する力を示すことができるのか？

#### 【時間と課題を効果的に管理する】

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| ◇ 短期的課題や長期的課題に向けて計画を立てる。<br>締め切りを守る。     | ◇ 必要な器具やものを授業に持ってくる。            |
| ◇ 試験や発表のための準備計画を作成する。                    | ◇ 情報ファイルやノートを、整理されたわかりやすい状態に保つ。 |
| ◇ 課題のために週間予定表をつけ、活用する。                   | ◇ 複雑な情報を整理するために適切な方法を用いる。       |
| ◇ 困難だがやりがいがあり、現実的な目標を設定する。               | ◇ 自分に合った学習スタイルを理解し用いる。          |
| ◇ 個人的な目標や学問的な目標を達成するためにふさわしい方法を計画し、行動する。 | ◇ テクノロジーを効果的かつ生産的に選択し用いる。       |



### IV. 情動スキル：自分の気持ちをどのように管理することができるか？

#### 【心理状態の管理】

- 注意深さに関する自覚
 

◇ 専念し、集中する。	◇ 注意力の乱れを克服する方法を実践する。
◇ 集中力が向上する方法を実践する。	◇ 心と体の関連性を認識する。
- 忍耐力
 

◇ 粘り強さと忍耐を示す。	◇ 我慢することができる。
---------------	---------------
- 感情管理（感情のコントロール）
 

◇ 衝動性や怒りを克服する方法を実践する。	◇ ストレスや不安を減らす方法を実践する。
◇ いじめを防止し撲滅（ぼくめつ）する方法を実践する。	
- 自己動機づけ
 

◇ 失敗の原因を分析し、特定する。	◇ 前向きな思考を実践する。
◇ 心の中での自分との対話を管理する。	
- 立ち直る力
 

◇ 逆境や、誤り・失敗のあとの「回復」を実践する。	◇ 失望や、目標を達成できなかったことへの対処を実践する。
◇ 「上手に失敗すること」を実践する。	◇ 変化への対処を実践する。



### V. 振り返りスキル：自分はどのようにして効果的に振り返りができるのか？

#### 【学習プロセスを（再）検討する、ATLスキルを選択し用いる】

- |                              |                            |
|------------------------------|----------------------------|
| ◇ 効果的な学習に必要な新しいスキル、方法を創り出す。  | ◇ 学習方法の選択と使用において柔軟性を持つ。    |
| ◇ 個人的な学習方法の強みと弱みを特定する（自己評価）。 | ◇ 新しいATLスキルを試し、その有効性を評価する。 |
- 内容を検討する
 

◇ 「今日、何について学んだのか？」を考える。	● ATLスキルの発達について検討する
◇ 「まだ理解していないことは何か？」を考える。	
◇ 「今、どのような疑問があるのか？」を考える。	
  - 個人的な学習方法を検討する。
 

◇ 「もっと有能で効果的な学習者になるために何ができるだろうか？」を考える。	◇ 他者の作品を模倣することにより創作的なプロセスに焦点をおき、認識する。
◇ 「学習方法を選択する際に、より柔軟になるにはどうしたらよいだろうか？」を考える。	◇ 倫理的、文化的、環境的影響を考える。
◇ 「より良い学習ができるようになるために重要な要素とは何か？」を考える。	◇ 振り返りを記録するために日記をつける。


## リサーチ





### VI. 情報リテラシースキル：自分は、どのようにして情報リテラシーを示すことができるのか？

#### 【情報を見つけ、解釈し、判断し、創造する】

- |   |   |
|---|---|
| ◇ データを収集し、記録し、検証する。                               | ◇ 適切な情報にアクセスし、利用し他者に伝える。                          |
| ◇ 解決策を特定し、情報に基づいた決定をするために、データを収集し、分析する。           | ◇ 情報にアクセス、処理し、また必要な情報を思い出す際、よく用いる学習方法の利点と限界を理解する。 |
| ◇ 情報を長期的に記憶するために工夫して覚える。                          | ◇ さまざまな形式や基準で情報を提示する。                             |
| ◇ さまざまな情報を関連付ける。                                  | ◇ データを処理し、結果を報告する。                                |
| ◇ それぞれの課題に対して、情報やコンピュータなどのデジタルツールの利点を評価し、選択する。    | ◇ メディアの情報を分析し解釈するために、批判的に考察する。                    |
| ◇ コンピュータなどの技術システムを理解し用いる。                         | ◇ 知的所有権を理解し、実践する。                                 |
| ◇ 参考文献への言及、引用を行い、必要に応じて脚注を使用する。適切な書式で参考文献目録を作成する。 | ◇ オリジナルな情報である一次資料と、それらが加工・編集された二次資料をきちんと分けて使用する。  |

	<b>VII. メディアリテラシースキル：自分は、どのようにしてメディアリテラシーを示すことができるのか？</b>
<b>【考えや情報を用い、創造するためにメディアと付き合う】</b>	
◇ さまざまな資料やメディアから情報を見つけ、整理、分析、評価、統合し、そして倫理的に用いる。	◇ 出来事や考えに関するメディアの解釈について認識している（デジタルソーシャルメディアを含む）。
◇ 様々なメディアの特徴に関して説明を受けたいうえで、メディアからの情報を得る。	◇ メディアの表現や発表形式がもたらす影響を理解する。
◇ 多角的で多様なソースからさまざまなものの見方を求める。	◇ さまざまなメディアや形式を用いて、多数の受け手と情報や考えを効果的にやりとりする。
◇ （マルチ）メディアリソースを比較・対照し、それらの情報源の関連性を引き出す。	

<b>思考</b>	
	<b>VIII. 批判的思考スキル：自分はどのようにして批判的に考えることができるのか？</b>
<b>【論点や考えを分析し、評価する】</b>	
◇ 問題を認識するために注意深く観察する。	◇ 事実に基づいて、時事的で、概念的な、議論の余地のある問題を提起する。
◇ 自分の考えを組み立てるために関連する情報を集め、整理する。	◇ 様々なものの見方に基づき考えを検討する。
◇ 述べられていない思い込みや偏見を認識する。	◇ 反対の、あるいは対立する議論を展開する。
◇ データを解釈する。	◇ 複雑な概念やプロジェクトの構成要素を分析し、新しい概念理解を構築するためにそれらを統合する。
◇ 証拠や議論の正当性を評価する。	◇ さまざまな解決策を提案し、評価する。
◇ 課題を認識し評価する。	◇ 障害や課題を特定する。
◇ 適切な結論や一般論を導き出す。	◇ 複雑なシステムや問題を解きほぐすために手本やシミュレーションを用いる。
◇ 一般論や結論を検証する。	◇ 傾向を特定し、可能性を予測する。
◇ 新しい情報や証拠に基づいて理解を見直す。	◇ 組織や応用方法の問題点を特定し解決する。
◇ リスクを評価し管理する。	
	<b>IX. 創造的思考スキル：自分はどのようにして創造的になることができるのか？</b>
<b>【今までにないアイデアを生み出し、新しいものの見方を検討する】</b>	
◇ 新しいアイデアや質問を提起するためにブレインストーミングや視覚的な図表を用いる。	◇ 推測し、「もし~だったら」という問いかけをし、検証可能な仮説を立てる。
◇ ありえないものや不可能なものも含めて、多数の代案を検討する。	◇ 新しい考えや製品、プロセスを生み出すために、既存の知識を応用する。
◇ 実際の問題への新しい解決策を創造する。	◇ 独自の作品やアイデアを創造する。 既存の作品やアイデアを新しい方法で用いる。
◇ 事象やアイデアを今まで考えなかった、あるいは独特な方法で関連付ける。	◇ 柔軟な思考を実践する。 複数の対立する、矛盾する、あるいは補足する議論を展開する。
◇ 既存の機械やメディア、テクノロジーの改善を考案する。	◇ 思考の可視化の方法やテクニックを実践する。
◇ 新しい機械やメディア、テクノロジーを考案する。	◇ 比喩や類似する例を作り出して用いる。
	<b>X. 転移スキル：自分はどのようにしてスキルや知識を教科の枠を超えて応用することができるのか？</b>
<b>【スキルと知識を多角的な状況において用いる】</b>	
◇ 教科や学問分野において効果的な学習方法を用いる。	◇ 複数の教科や学問分野を関連付ける。
◇ なじみのない状況においてスキルや知識を応用する。	◇ 製品や解決策を生み出すために、知識や理解、スキルを組み合わせる。
◇ 異なるものの見方を身に付けるために、異なる状況を探る。	◇ 現在持っている知識を新しい技術を学ぶために応用する。
◇ 多数の教科や学問分野を横断して概念的理解を比較する。	◇ 様々なものの見方を身に付けるために探究の背景状況を変更する。